

第75期 報告書

2021年4月1日 » 2022年3月31日

kitazawa

ごあいさつ

株主の皆様には平素より格別のご支援ご高配を賜り心より御礼申し上げます。

さて、当社第75期事業年度を終了いたしましたので、当連結会計年度における営業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益に回復の兆しが見られたものの、新型コロナウイルス感染症の長期化により、個人消費の回復には遠く及ばず、厳しい状況が続きました。また、2月に発生したウクライナ危機、3月以降の急激な円安により、世界的な原材料や資源価格の高騰も当面続くものと予想され、先行きは依然として不透明な状況となっています。

このような環境の中で、当社グループの当連結会計年度の売上高は156億2百万円（前年同期比9.1%増）となりました。利益面では、営業利益3億69百万円（前年同期は16百万円の営業利益）、経常利益4億23百万円（前年同期比330.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1億54百万円（前年同期は37百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

次期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期が見通せないことや、原材料価格やエネルギー価格の高騰が懸念されるなど、景気の先行きは不透明な状態が続くと予想されます。このような経営環境の中で当社グループは、業務用厨房機器業界の発展の一翼を担う企業としての自負を基本に、既存取引先との更なる信頼関係を築きつつ、同業他社との差別化を図った高付加価値商品の販売推進を軸として、お客様に喜んでいただける魅力のある商品をラインナップ及び提供することを使命とし、市場や需要の変化にも柔軟に対応出来る積極的な営業活動、更なるアフターサービスの充実に努めてまいります。また、新規顧客への積極的な営業の強化やニーズにプラスαした当社グループにしか出来ないオンリーワン商品の提案、廃油量を抑えるWAOフライヤーや省力化に貢献するトレーバックシステム等当社グループ製品を用いたSDGsへの取り組みの提案営業をすることにより、当社グループのさらなる成長に努めてまいります。

「食」には人を笑顔にし、幸せにするパワーがあります。この素晴らしいパワーを持つ「食」に関われる喜びと誇り、皆様に満足していただける「食」をプロデュースしたいとの願いは、1951年の創業以来、変わることなく受け継がれてきました。これからもお客様の要望に寄り添い、より良いご提案が出来るよう社員の育成にも取り組んでまいります。

今、調理を取り巻く環境は、美味しさの追求だけにとどまらず、安心・安全等様々な対応を求められています。常に時代のニーズに応えるべく、今後も企業努力を重ね、「食文化」の現場により深く関わり、社会からより求められる企業へとさらに邁進していく所存です。

またリスク管理とコンプライアンスの強化を図り、正確かつ十分な経営情報を適時ご提供し、経営の透明性を維持してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



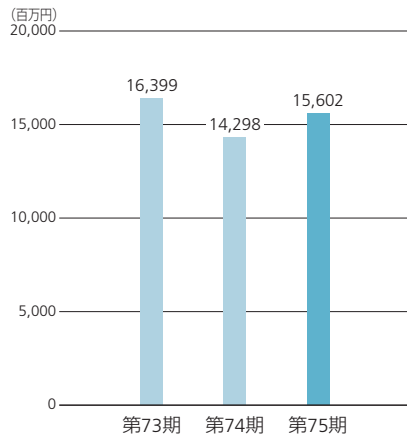
代表取締役社長

北川 正樹

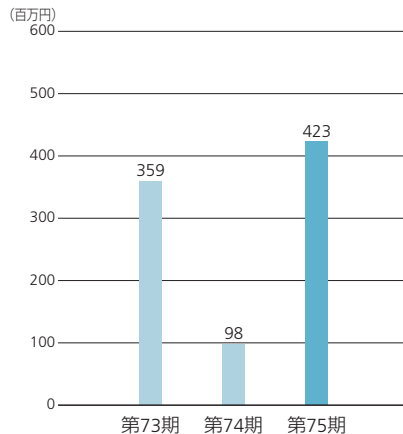
2022年6月

▶ 連結主要財務指標

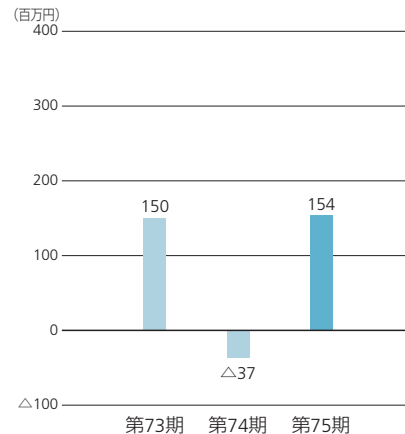
売上高



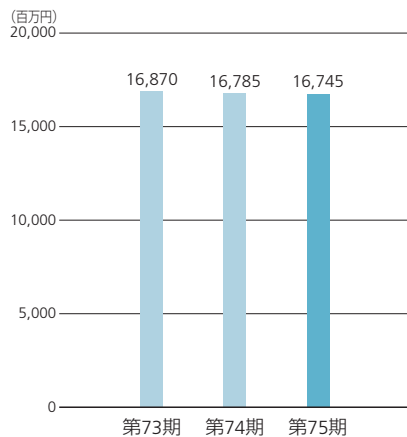
経常利益



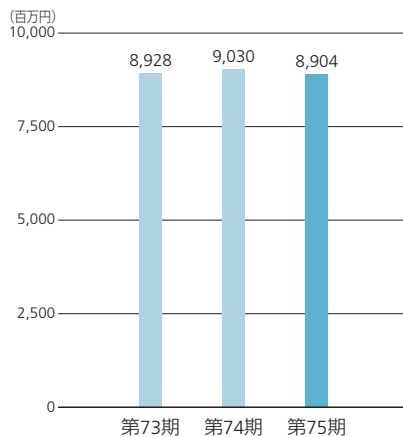
親会社株主に帰属する当期純利益



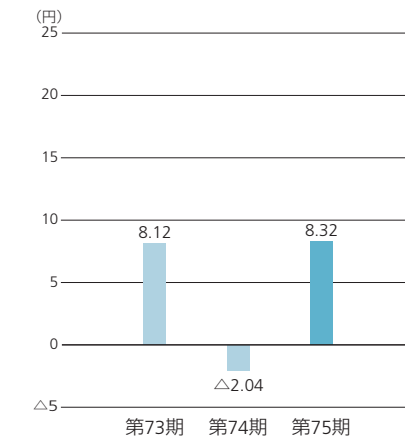
総資産



純資産



1株当たり当期純利益



プレパレーションライン

下ごしらえ用機器

シンク、作業台、食器戸棚をはじめ、野菜調理機やみじん切り専用フードカッター、ポテトの皮むき用ピーラー、肉・ハム用各種スライサー、チョッパー、洗米機など、食材の持ち味を生かす下ごしらえをしっかりとこなします。



コールドフーズライン

冷凍・冷蔵保管用機器

強力ファンと大型冷却器で急速冷却できるブラストチラーや耐久性・デザイン性に優れた冷蔵庫・冷凍庫・冷凍冷蔵庫。高い製氷能力を実現する製氷機など、食材の鮮度を厳しく管理する冷凍・冷蔵保管用機器です。



ホットフーズライン

加熱調理用機器

水と油のフライヤーWAO、ガスレンジ、ガステーブルをはじめ、スープ専用レンジや種類をゆでるスーパーケトルや焼き物に便利なコンベクションオープン、最新の調理方法に必要なマルチクッカーなど、加熱調理に威力を発揮します。



サニタリーライン

洗浄・保管用機器

食器洗浄機をはじめ、容器洗浄機や洗浄後の食器や容器を殺菌・消毒を兼ねて収納する食器消毒保管庫（電気・ガス・蒸気の3タイプ）など、洗浄から殺菌までをトータルにカバーします。



サービスライン

客席付近のサービス用機器

レギュラーコーヒーからエスプレッソまでを一台で抽出できるコーヒーマシンや安定した品質でお茶を提供できる給茶機。用途に合わせたレイアウトが可能なユーロストックなど、機能性を最優先に考えたサービス用機器です。



ベーカーズライン

製菓・製パン用機器

多種多様なスイーツメニューを一台で焼き分けるパティスリーオープンや、菓子パンからフランスパンまで、ふっくらと焼きあげるスーパーオープン。コンパクトタイプながら便利な機能満載のコンベクションオープン、バイクマスターなど製菓・製パン用機器です。



マスフーズライン

大量調理用機器

上下から炎で加熱するコンベアー方式の連続自動焼物機、すしご飯や揚げ物などを素早く常温に冷やす真空高速冷却機をはじめ、連続自動フライヤーや連続自動炊飯器、レオニーダーなど、スピーディな大量調理にぴったりの省力化機器です。



家庭用キッチン

オーダーメイドキッチン

お客様のご要望に合わせた家庭用オーダーキッチンの設計・製作。ステンレスキッチンはもちろん、木を使ったナチュラルなキッチンなど幅広い素材とデザインに対応。また、厨房機器メーカーとしてのノウハウを詰め込んだハイカラーレンジやプロシューマーオープンなど、プロ仕様の製品を家庭用にアレンジし独自の強みを生かしたオリジナル製品も発表しています。



「水」と「油」のフライヤー



フライヤー「WAO」は、水を使用した独自の油濾過システムにより油の酸価値を低く抑え、常に新鮮な油で揚げることによって、高品質なフライを可能としました。美味しさを追求するプロフェッショナルの皆様方にお勧めする高性能フライヤーです。



コンパクトでも高性能なスチームコンベクションオーブン



専門店メニューからベーキングまで_____。多彩な加熱料理を1台でこなすkitazawaのマルチクッカー。JOKERは其中最もコンパクトなモデルで、調理機能はそのままにサイズだけを小さくした、高性能なスチームコンベクションオーブンです。製菓・製パンにまで対応し、わずかなスペースでさまざまな調理が可能です。



プロの厨房に憧れるすべての人へ 家庭用キッチンブランド“ホームシェフ”



日本中の美味しい店を知っているプロの厨房機器メーカー北沢産業が「料理好きな人へ」「おもてなし好きな人へ」「プロの厨房に憧れるすべての人へ」提案する家庭用オーダーメイドキッチンです。当社の業務用厨房機器の経験を生かしながら、料理好きの願いを実現します。



H CJ2022（三展合同展示会）

2022年2月15日（火）～18日（金）
東京ビッグサイトにて開催されました。



2022年2月15日（火）～18日（金）東京ビッグサイトにて開催されましたH CJ2022（第50回国際ホテル・レストラン・ショー、第43回フード・ケータリングショー、第22回厨房設備機器展）に本年も出展をいたしました。新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が出されている中での開催となり、来場者数は例年に比べて少ないものの、当社ブースには昨年より多くの方にご来場いただきました。

ブース内ではデリバリーやテイクアウトの需要増加に伴う「食」の提案を引き続き行うと共に、SDGsの取り組みとして環境に配慮した製品の提案をWAQフライヤー、スービットクッカーの実演にて示しました。また、学生・社員食堂、高速道路のサービスエリア等で、トレーや食器、グラスを同時に洗浄し、スタックまでシステム化した新商品「TTGトリプル洗浄機」の展示も行い、多くのお客様に興味を持っていただけました。

SMTS2022（スーパーマーケットトレードショー）

2022年2月16日（水）～18日（金）

幕張メッセにて開催されました。



2022年2月16日（水）～18日（金）幕張メッセにて開催されましたSMTS2022（スーパーマーケットトレードショー）へ本年も出展をいたしました。前回に引き続き、コロナ禍での開催となりました。密を防ぐため展示スペースに余裕を持たせ、お客様が安心してブース内をご覧いただけるよう配慮をし、HCJ2022同様に来場者数は例年に比べて少ないものの、当社ブースには昨年より多くの方にご来場いただきました。

ブース内では、WAOフライヤーの提案を主に行い、特に酸価値が低く保たれることによる油の廃棄削減の点において、食用油の高騰にお困りのお客様はもちろん、SDGsに関心のあるお客様にも大変興味を持っていただけました。さらに大量調理に適するWAO AUTO、いぶし銀+AUTOも展示をし、スーパーマーケット関係の皆様方へ、その先にいる消費者の方々も満足していただける提案をし、ご好評を得ることができました。

■ 連結貸借対照表

科 目	当連結会計年度 (2022年3月31日)	前連結会計年度 (2021年3月31日)
資 産 の 部		
流動資産	8,635,393	8,339,378
固定資産	8,109,792	8,445,970
有形固定資産	5,482,747	5,658,691
無形固定資産	202,954	202,412
投資その他の資産	2,424,089	2,584,865
資産合計	16,745,185	16,785,349

(単位：千円)

科 目	当連結会計年度 (2022年3月31日)	前連結会計年度 (2021年3月31日)
負 債 の 部		
流動負債	6,510,451	6,435,920
固定負債	1,330,480	1,318,754
負債合計	7,840,931	7,754,675
純 資 産 の 部		
株主資本	8,231,385	8,169,702
資本金	3,235,546	3,235,546
資本剰余金	2,965,130	2,965,130
利益剰余金	2,973,166	2,911,461
自己株式	△942,458	△942,436
その他の包括利益累計額	672,868	860,971
その他有価証券評価差額金	673,289	858,295
退職給付に係る調整累計額	△421	2,676
純資産合計	8,904,254	9,030,673
負債純資産合計	16,745,185	16,785,349

POINT 1

資 産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.5%増加し、86億35百万円となりました。これは主に、現金及び預金3億47百万円及び商品1億3百万円の増加と受取手形及び売掛金1億47百万円の減少が相殺されたものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4.0%減少し、81億9百万円となりました。これは主に、投資有価証券2億52百万円の減少と繰延税金資産1億1百万円の増加が相殺されたものです。

POINT 2

負 債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.2%増加し、65億10百万円となりました。これは主に、未払法人税等1億57百万円の増加と支払手形及び買掛金58百万円の減少が相殺されたものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて0.9%増加し、13億30百万円となりました。これは主に、退職給付金に係る負債19百万円の増加と長期未払金7百万円の減少が相殺されたものです。

POINT 3

純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて1.4%減少し、89億4百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金1億85百万円の減少と利益剰余金61百万円の増加が相殺されたものです。

■連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当 期 (2021年4月 1日から 2022年3月31日まで)	前 期 (2020年4月 1日から 2021年3月31日まで)
売上高	15,602,110	14,298,926
売上原価	11,601,131	10,638,232
売上総利益	4,000,978	3,660,694
販売費及び一般管理費	3,631,543	3,644,234
営業利益	369,435	16,460
営業外収益	65,593	93,242
営業外費用	11,071	11,217
経常利益	423,957	98,484
特別利益	12,439	—
特別損失	64,819	67,657
税金等調整前当期純利益	371,577	30,827
法人税、住民税及び事業税	235,533	67,202
法人税等調整額	△18,612	1,541
当期純利益又は当期純損失 (△)	154,656	△37,915
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	154,656	△37,915

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当 期 (2021年4月 1日から 2022年3月31日まで)	前 期 (2020年4月 1日から 2021年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	552,037	543,391
投資活動によるキャッシュ・フロー	△111,559	△274,856
財務活動によるキャッシュ・フロー	△92,972	△92,984
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	347,505	175,549
現金及び現金同等物の期首残高	4,089,592	3,914,042
現金及び現金同等物の期末残高	4,437,098	4,089,592

POINT 4

営業活動によって得られた資金は、5億52百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益3億71百万円、減価償却費2億75百万円及び売上債権の減少額1億47百万円の増加要因と棚卸資産の増加1億35百万円及び仕入債務の減少額58百万円の減少要因が相殺されたものです。

投資活動によって使用した資金は、1億11百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1億9百万円によるものです。

財務活動によって使用した資金は、92百万円となりました。これは主に、配当金の支払額によるものです。

■連結株主資本等変動計算書 (2021年4月1日から2022年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	3,235,546	2,965,130	2,911,461	△942,436	8,169,702	858,295	2,676	860,971	9,030,673
当期変動額									
剰余金の配当			△92,950		△92,950				△92,950
親会社株主に帰属する当期純利益			154,656		154,656				154,656
自己株式の取得				△21	△21				△21
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						△185,005	△3,097	△188,103	△188,103
当期変動額合計	—	—	61,705	△21	61,683	△185,005	△3,097	△188,103	△126,419
当期末残高	3,235,546	2,965,130	2,973,166	△942,458	8,231,385	673,289	△421	672,868	8,904,254

会社概要 (2022年3月31日現在)

商 号	北沢産業株式会社
創 業	1951年3月28日
本 社 所 在 地	〒150-0011 東京都渋谷区東二丁目23番10号 電話 (03) 5485-5111 (代表) https://www.kitazawasangyo.co.jp
資 本 金	32億3,554万6,415円
従 業 員	459名 (連結)
事 業 内 容	1. 揚物調理機の製造ならびに販売 2. 厨房器具の製造ならびに販売および厨房設備の工事請負 3. 調理機械器具の製造ならびに販売 4. 冷凍ケース・冷蔵庫および保温ケースの製造ならびに販売 5. プロパンガスおよびその他燃料の販売 6. 生鮮および加工食品の販売 7. 油脂および洗剤の製造ならびに販売 8. 製缶および板金加工請負・左記を主体とする製品の販売 9. 不動産の賃貸 10. 科学器械の製造ならびに販売 11. レジャー用品の製造ならびに販売 12. 家具の販売 13. 内装仕上げ工事の設計、施工請負および監理 14. 前各号に附帯する一切の業務

取 引 銀 行 株式会社北陸銀行
株式会社横浜銀行
株式会社三井住友銀行
株式会社三菱UFJ銀行

取締役および監査役 (2022年6月29日現在)

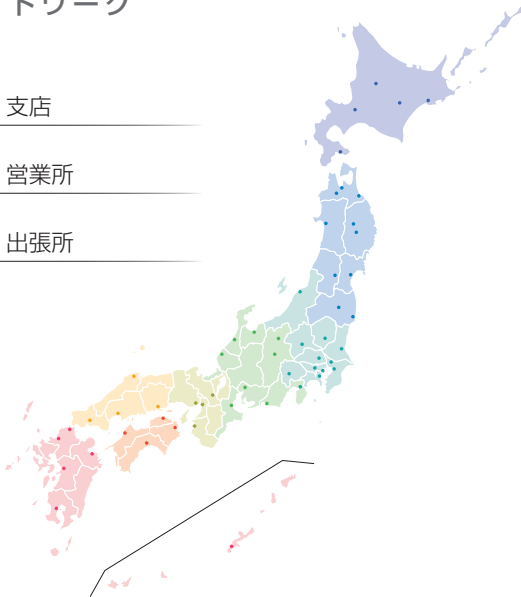
代表取締役社長	北 川 正 樹
常 務 取 締 役	石 塚 洋
取 締 役	小 山 栄 樹
取 締 役	神 田 浩 徳
取 締 役	甲 田 欣 豊
取 締 役	長谷川 英 樹
社 外 取 締 役	青 木 茂 男
社 外 取 締 役	山 田 正 人
常 勤 監 査 役	相 原 貫 二
社 外 監 査 役	藤 森 一 喜
社 外 監 査 役	井 上 晴 孝
社 外 監 査 役	納 谷 全 一 郎

ネットワーク

15 支店

31 営業所

7 出張所



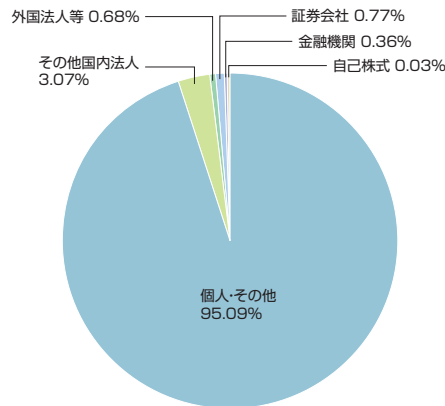
株式の状況 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数	72,000,000株
発行済株式の総数	23,818,257株
株主数	3,358名
大株主	

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
北沢持株会	1,719	9.25
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,516	8.16
光通信株式会社	1,390	7.48
株式会社北陸銀行	921	4.95
北沢産業従業員持株会	899	4.84
株式会社UH Partners2	796	4.28
フクシマガリレイ株式会社	778	4.19
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	373	2.01
株式会社インテリックス	370	1.99
株式会社エスアイエル	289	1.56

(注) 当社は、自己株式5,228,155株を保有しておりますが、上記大株主より除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株主の分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 3月31日

中間配当基準日 9月30日

公告方法 電子公告により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
ホームページアドレス
<https://www.kitazawasangyo.co.jp>

株主名簿管理人 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
日本証券代行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
日本証券代行株式会社 本店

(郵便物送付先) 〒168-8620
お問合せ先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
日本証券代行株式会社 代理人部
電話 0120-707-843 (フリーダイヤル)

各種手続のお申出先

- ・ 未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- ・ 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等
証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へお申出ください。

特別口座でのお手続用紙のご請求はインターネットでも受け付けております。

ホームページアドレス <https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>
(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)



北沢産業株式会社

本社／〒150-0011 東京都渋谷区東二丁目23番10号
(03) 5485-5111 (代)
<https://www.kitazawasangyo.co.jp>

